

収受番号: 370

サービス評価結果提出届（兼受理書）

健康福祉局介護事業指導課 御中

（太枠内のみ記入してください。）

提出日: 2025 年 2 月 15 日

届出者	サービス種別 (該当に○)	○	認知症対応型共同生活介護					○	介護予防 認知症対応型共同生活介護				
	事業所番号	1	4	7	0	2	0	1	1	7	7		
	事業所名	愛の家グループホーム横浜菅田											
	事業所所在地	(〒 221-0864) 横浜市神奈川区菅田町 2975-75											
	担当者名	大河原 聡子											
	連絡先	電話	045-488-6280				FAX	045-488-6281					

次のとおり、資料を添えて提出します。

外部評価実施方法 ※実施した方法に○を記入してください		外部評価機関による評価	○	運営推進会議における評価
外部評価受審結果表受理日又は 運営推進会議における評価実施日		2024 年 10 月 19 日		
添付書類 (チェック欄にレ)	チェック欄	✓	自己評価及び外部評価結果※(外部評価の緩和適用年度は自己評価のみ)	
	✓	目標達成計画 (毎年度提出が必要です)		
	✓	返信用封筒 (110 円切手を貼り、返信先を明記した長 3 封筒)		

※運営推進会議における評価の場合は、「自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール」を提出してください。

外部評価の緩和適用年度に提出する自己評価は神奈川県が定める様式を活用して提出してください。

（以下は記入しないでください。）

次のとおり、サービス評価結果報告書を受理しました。

報告書受理日	7 年 2 月 19 日		実施年度	6 年度		
受理内容	○	自己評価結果	○	外部評価結果	○	目標達成計画
次回実施期限	8 年 3 月 31 日					

<次回外部評価実施後、評価機関から受審結果表を受理した日から 1 か月以内に報告書を提出して下さい>

<この受理書は再発行しません。外部評価の緩和の適用を受ける際に必要なため、保管してください>

【発行】横浜市健康福祉局介護事業指導課 電話 045-671-3466 FAX045-550-3615

受付担当者:



自己評価及び外部評価結果

1. 事業所概要

事業所番号	1470201177	実施年度	令和6年度
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム横浜菅田 1F ひまわりユニット		
所在地	(221-0864) 横浜市神奈川区菅田町 2975-75		
サービス種別	☒ 認知症対応型共同生活介護 ☒ 介護予防認知症対応型共同生活介護	定員 18	計 18 名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	2024 年 10 月 1 日	評価結果 市町村受理日	2025 年 2 月 19 日

2. 運営推進会議開催日時・場所

日 時	2024 年 10 月 19 日 14 : 30 ~ 15 : 30	場 所	愛の家グループホーム横浜菅田 1F
-----	------------------------------------	-----	-------------------

3. 運営推進会議メンバー

区分	委員分野・主な役職等	人 数
委員	利用者又は利用者の家族	18 人
	地域住民の代表者	9 人
	当該サービスに知見を有する者	2 人
	市の職員又は地域包括支援センターの職員	1 人
事務局	管理者	1 人
	計画作成担当者	1 人
	介護従業者	2 人

4. 事業所の特徴

アクティブに活動しているホームだと思います。生活機能向上連携加算が導入され、理学療法士の介入から更にリハビリに特化したホームとなっております。ミニジムコーナーも4年前から開設し、サイクルマシンやバランスディスク等を導入しほぼ毎日活動しております。

スタッフの定着率も高く、長く勤めているからこそ、お一人お一人に寄り添ったケアが出来ていると思います。長く入居されている方も多くいらっしゃるのも特徴であります。ご家族満足度も高く、ご逝去されたご家族様が未だに運営推進会議に参加される等、ご家族との関係性もとても良いホームであります。

自己評価及び外部評価結果

1. 事業所概要

事業所番号	1470201177	実施年度	令和6年度
法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社		
事業所名	愛の家グループホーム横浜菅田 2F あじさいユニット		
所在地	(221-0864) 横浜市神奈川区菅田町 2975-75		
サービス種別	☒ 認知症対応型共同生活介護	定員 18	計 18 名
	☒ 介護予防認知症対応型共同生活介護	ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	2024 年 10 月 1 日	評価結果 市町村受理日	2025 年 2 月 19 日

2. 運営推進会議開催日時・場所

日 時	2024 年 10 月 19 日 14:30~15:30	場 所	愛の家グループホーム横浜菅田 1F
-----	------------------------------	-----	-------------------

3. 運営推進会議メンバー

区分	委員分野・主な役職等	人 数
委員	利用者又は利用者の家族	18 人
	地域住民の代表者	9 人
	当該サービスに知見を有する者	2 人
	市の職員又は地域包括支援センターの職員	1 人
事務局	管理者	1 人
	計画作成担当者	1 人
	介護従業者	2 人

4. 事業所の特徴

アクティブに活動しているホームだと思います。生活機能向上連携加算が導入され、理学療法士の介入から更にリハビリに特化したホームとなっております。ミニジムコーナーも4年前から開設し、サイクルマシンやバランスディスク等を導入しほぼ毎日活動しております。

スタッフの定着率も高く、長く勤めているからこそ、お一人お一人に寄り添ったケアが出来ていると思います。長く入居されている方も多くいらっしゃるのも特徴であります。ご家族満足度も高く、ご逝去されたご家族様が未だに運営推進会議に参加される等、ご家族との関係性もとても良いホームであります。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール ひまわりユニット

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム理念は変わらず理念が浸透しており、実践に向けて出来る事も理解できている。「どこよりも入居したくなるホームを目指します」の理念は今後も継続する。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている ㊤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様をお連れしての営業活動は、続けている。入居前にお世話になった地域包括や老健等を訪問しご挨拶しているが、4月、8月とコロナクラスターとなり、5類とは言え地域との繋がりには消極的であった。	最近では一人での営業が主であった。感染者が下火になった時は入居者様を営業にお連れする場合もある。この取り組みはとても効果があるのではないか。継続してほしい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	5類になった為、昨年7月から対面開催としている。積極的な意見交換はできている方ではないが、欠席の方にも書面報告も継続している。	地域包括との意見交換や、薬局による健康相談、骨密度測定等をご家族にもやって頂く等を運営推進会議で行った。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている ㊤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域包括とは運営推進会議に毎回参加頂き情報交換している。地域の認知症で困っている方の相談や入居相談も受けている。運営上不明点は「高齢者事業支援課」へ連絡し助言頂いている。	入居者様に取って最善の取組みを常に考えており、行政にも相談してヒントを頂いている。いつも協力して頂いているかんけいせいである。継続してほしい。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	何が身体拘束に当たるかを定期的に研修し、頭に叩き込まれている。玄関の施錠はあるも、徘徊していた方の家族には安心感がある、とのご意見もあり。その他の身体拘束は一切行っていない。		㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	※訪問時、身体拘束を行っている様子は見られない。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に1回(3月)全職員に【高齢者虐待及び身体拘束について】の研修を行い虐待に繋がらない様、認知症理解とスタッフのメンタルサポートも行っている。		㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	※訪問時虐待の様子は見られない。

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール あじさいユニット

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	㊤ 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム理念は変わらず理念が浸透しており、実践に向けて出来る事も理解できている。「どこよりも入居したくなるホームを目指します」の理念は今後も継続する。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている ㊤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様をお連れしての営業活動は、続いている。入居前にお世話になった地域包括や老健等を訪問しご挨拶しているが、4月、8月とコロナクラスターとなり、5類とは言え地域との繋がりは消極的であった。	最近は一人での営業が主であった。感染者が下火になった時は入居者様を営業にお連れする場合もある。この取り組みはとても効果があるのではないかと。継続してほしい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	5類になった為、昨年7月から対面開催としている。積極的な意見交換はできている方ではないが、欠席の方にも書面報告も継続している。	地域包括との意見交換や、薬局による健康相談、骨密度測定等をご家族にもやって頂く等を運営推進会議で行った。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている ㊤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域包括とは運営推進会議に毎回参加頂き情報交換している。地域の認知症で困っている方の相談や入居相談も受けている。運営上不明点は「高齢者事業支援課」へ連絡し助言頂いている。	入居者様に取って最善の取組みを常に考えており、行政にも相談してヒントを頂いている。いつも協力して頂いているかんけいせいである。継続してほしい。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	何が身体拘束に当たるかを定期的に研修し、頭に叩き込まれている。玄関の施錠はあるも、徘徊していた方の家族には安心感がある、とのご意見もあり。その他の身体拘束は一切行っていない。		㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	※訪問時、身体拘束を行っている様子は見られない。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に1回(3月)全職員に【高齢者虐待及び身体拘束について】の研修を行い虐待に繋がらない様、認知症理解とスタッフのメンタルサポートも行っている。		㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	※訪問時虐待の様子は見られない。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	少しでも自立して生活が送れる様健康管理をしている。成年後見人については3名の方が居られ、どのような方に後見人制度が必要かを定期研修にて学んでいる。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時のみならず、契約前や契約後にも親切丁寧な説明を心がけ少しでも不明点、不安があればすぐに確認の連絡を頂き回答させて頂いている			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている ㊤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議での意見交換にて運営に反映できる点は多い。日常的に連絡を取り合い、ご意見を頂いている。行政にも相談窓口がある点をお伝えしている。	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	※定期的に運営推進会議を行っており、利用者家族の意見を聞いてもらう機会は多くあり、電話でも話しやすい関係性である。	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営に関しては、ホーム会議、ユニット会議、リーダー会議にて目標や実績を報告している。会議参加も積極的に意見の反映もできている			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアパス制度にて職員個々の勤務状況は把握し評価している。事例報告でも毎年高評価を頂き、職員の働きが評価されている。資格支援制度も充実している。	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	※実際には職員でしか分からない点もあるので自己評価を参考にしている評価ではない。キャリアパス制度が導入され正当な評価が出来ていると思っている。	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている ㊤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	社内研修やOJTに力を入れておりOJT担当の研修もある。資格支援制度では社内eラーニングを実施。今期2名の介護福祉士合格者あり。	A. 充分にできている ㊤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	※OJTには力を入れているが、年代の差、時代の違いにて通用しない事も出て来ている点を既存スタッフはアップデートしながら育てることも必要な事ではないか。	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ㊤. ほとんどできていない	コロナ禍以降、機会を逸している。管理者は営業等で多少のネットワークはあるも、職員の相互訪問や勉強会等の活動が出来ていない。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居者様の「できること」に着目し、職員とご入居者様が協力しグループホームでの生活を支援している。(調理補助や掃除、庭整備等)			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている ⑩. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナに関し、第五類に移行した後、社内でも自粛が解かれた部分もあり、面会や外出により馴染みの関係性の再開の支援が出来るようになってきた。	面会の緩和により親戚にも会えるようになり、関係性が再開したご家族もあり、認知症にとって馴染みの人たちに会うことは大切であることを改め理解した。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている ⑩. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	思いを発信できる方の意向の把握は出来ている。自宅へ帰りたい方へのマネジメントの困難さはある。過ごし方の希望の把握は出来るが叶えられない現実もある。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	より良く過ごすための十分な課題分析の時間を取っている。生活機能向上に関しては理学療法士の専門的な助言から介護計画が作成出来ている。アイデアを反映したミニトレーニングジムも開設し結果も出ている。	ケアプランの説明をして頂く時に多職種の方の関わりがあることが分かる。理学療法士の関わりは有難く思う。と言ったご意見あり。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	※ケアプランの説明時に多職種との連携が出来ていることを理解できる。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている ⑩. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電子記録になって、水分や食事、バイタル等のデータ取りに追われ、気づきが若干減少しているの意識して記録して行く。		A. 充分にできている ⑩. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のケアを通してプランの実施が積極的に行われている為、気づきや工夫の精度が高く、情報共有も積極的に実施されている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている ⑩. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族のいらっしゃらない入居者様に関して、家族以外に訪ねてくれる環境を傾聴ボランティアの支援を受けることでご本人を支える一端を担っていると思う。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている ⑩. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームそのものが、スタッフ一人一人が、入居者様の暮らしを支える地域資源でもある。今までの地域資源である医療機関と共に職員それぞれが入居者様の暮らしを支える資源として多方面で支援できている。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様の日常の体調を十分に把握した上で適切な診断と処方をして頂いている。急変時の助言や指示も24時間頂けるので頼りになる			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	㊤. 充分にできている ㊦. ほぼできている ㊧. あまりできていない ㊨. ほとんどできていない	病院の方に速やかに情報提供し。進捗が入り辛い時は面会にて情報を得る事もある。病院内での拘束からの身体機能低下を最小限にする為にも治療がある程度落ち着いたら退院の話を早い段階で進めている。近隣の病院へは定期的に訪問している。		㊤. 充分にできている ㊦. ほぼできている ㊧. あまりできていない ㊨. ほとんどできていない	※入退院の経験があるが、早期に判断し、適切な対応をしてくれている。 早期隊員が重要であるのは拘束による身体機能の低下があることなどをホーム側から報告してもらった。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている ㊤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホームで出来る範囲の終末期の介護を誠意を込めて行っている。病院、特養との介護(医療)の違いを説明しご理解頂けていると思う		㊤. 充分にできている ㊦. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	※「終末期を迎えた本人及び家族に対して十分な対応をいただいている」
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時の備えとして繰り返しでの応急処置初期対応の定期的な研修の実施と準備、24時間医療機関の助言と指示の下実践力はついている			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	消防署の協力を得て年2回の防災訓練を実施しており、避難経路、手段の把握は出来ている。訓練時には地域住民の協力も得ている。ホーム側も有事の際には避難所として提供できる体制にあることで地域との協力体制にある。		㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	※自己評価の通りだと思います。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている ㊤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴、トイレ介助はできる範囲で同性介助を実施している。人生の先輩として介助されるだけの立場のは感じない様、敬意を込めた声掛けをしている。		㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	※
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている ㊤. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	集団生活に支障がない程度にご希望はお聞きしているが自己管理が困難となった方には何をしたら良いのか混乱される前に行動パターンの選択肢をお伝えすることもある。			

28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	完調品ではなく手作りの食事の為。皆様とても楽しく完食している。できる方には調理の一部や食器片付けもやって頂いている。		㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	※飲み込みが困難な入居者様に対してもDrと相談しながらなるべく普段通りの食生活が出来る様心がけていると思う。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自立支援の取り組み強化により水分と食事摂取量が増加した。たんぱく質の重要性に目を向けプロテインも提供している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後の口腔ケアを介助している。磨き残し等の介助も実施している。一部拒まれる方の支援が不十分な点は、歯科医による口腔ケアを依頼している		㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	※ホームに入居して管理して下さっているからこそ、口腔内の清潔保持が出来ていると思う。自宅に居たら毎食後歯を磨く事はしない。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄のパターンを掴み尿失禁の減少に向け努力している。便秘予防には牛乳、ヨーグルトの提供と共に水分摂取に力を入れている。		㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	※一人一人に対応したケアが必要なデリケートな対応を今後も期待する。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている ㊤. あまりできていない D. ほとんどできていない	共同生活上では入浴回数が均等になる様に基本的な日程は決めさせて頂いている。入浴時間も寝る前を希望される方には職員が退社後の時間帯では危険である為応じられない点もある。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご希望の方には、日中、居室で休まれたりTV鑑賞をして頂いている。夜間巡回時には近くに居る事を伝え安心して頂き、程よい空調で安眠できる様支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	命を預かる者として入居者様の処方内容は職員全員が把握できる様往診記録に詳細を記録し薬情も確認しながら服薬時にはWチェックした後、服用して頂いている。		㊤. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	※処方箋や薬情もしっかりチェックしており処方変更時の症状や体調の変化も注視している。(薬局様より)

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている ⑩. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昔、書道の師範だった方には毎日筆ペンにて昼食や夕食の「お品書き」を書いて頂くなど得意分野を把握し発揮できる機会を作っており役割や居場所を感じて下さっている。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている ⑩. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	少人数でのドライブではあるが、イルミネーション見学、花見には出かけることが出来た。希望しておられたご家族との外出も増え昨年よりも多少の充実感は感じて頂けていると思う。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている ⑩. あまりできていない D. ほとんどできていない	購買意欲の強い方に限られてしまっているが日用品の買物は一緒にやっている。また自販機でジュース、サイダー等を購入する事もできている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	⑩. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族様とお電話を希望される方には随時掛けて頂き安心して頂いている。文通をしておられる方の切手購入投函等の支援をしている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている ⑩. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歩行不安定な方には居室のレイアウトを変えたり簡易手摺を設置して頂いたり、掴まる所を増やすようにして一人でも安全に移動できる様、工夫している。 共用の空間は、ゆったりとしたソファで寛げるように設置している。	⑩. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	※日々の一人一人の変化に注意して頂きたい。 面会時にも居心地の良さを感えている為満足している。	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている ⑩. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内での生活を楽しく頂くためにご希望を聞き、可能な限り叶うよう努めている。昨年よりもご家族との外出や面会等は実施できたと思う。			

41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている ◎. あまりできていない D. ほとんどできていない	友人関係は殆どの方が希薄であるが暮らしの習慣や特徴については出来るだけ把握し、書道を生かした支援等、ご本人の特徴を大切にしている			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	◎. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康観察に注力している。体調変化がある場合は早期に医療機関へ相談している。転倒予防の為に居室環境レイアウトを随時見直している。		◎. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	※自己評価の通りであると思います。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 充分にできている ◎. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩の習慣のあった方には雨天以外、出来るだけお連れしている。昼寝の習慣のあった方には昼夜逆転にならない様、時間を決めて休んで頂いている			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	◎. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	茶碗お椀等の日用品、出来る範囲での家具類、仏壇等も居間に置くなどしてご本人にとっては自宅からの継続となっている。		◎. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	※自己評価の通りだと思います。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	◎. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法事や冠婚葬祭への支援、親戚との集まりにも積極的に参加頂いてはいるが、同時に、感染症対策もお願ひしている。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	◎. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自身の役割や楽しみをケアプランに入れ実践している。職員からの感謝や励ましの効果は大きい為積極的に感謝をお伝えするように決めている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	◎. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気の合う入居者様同士の会話の様子は日常よく見られている。家事や掃除等の活動もその方に合った支援ができ、生き生きとしている。		◎. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	※面会時の表情を見ればよく分かります。 ・共用スペースでの楽しそうな様子と、お手伝いがちゃんと出来ていることを伝えたと嬉しそうにしている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができています	A. 充分にできている B. ほぼできている ◎. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域との関わりは職員との買物や、管理者と営業活動に同行することで関わることが出来ているが頻度は少ない。			

49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員とは良い関係性をもって生活できておられ、仲の良さが日々感じられる。地域の人々との触れ合いが少ないが見学時など外部の方の訪問時に「入居者様の表情の明るさ、豊かさ」に関心して下さる。	④. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	※ブログは大変良いと思います。もっと情報を発信して色々な方々にグループホームの良さが広まれば良いと思います。
----	----	---	---	--	---	---

目 標 達 成 計 画

事業所名

愛の家グループホーム横浜菅田

作成日

2025年 2 月 15 日

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	12	職員を育てる取組みについて資格支援は充実しているも、新卒スタッフを含む若いスタッフの定着が難しい。	新卒や、若いスタッフを育て、定着できる。	OJTの研修を再度受講して教育に臨む。 柔軟な考えを持って若いスタッフの対応をする為、既存スタッフの勉強会を定期的 に実施する。	1 年
2	9	運営に関する利用者家族等の意見の反映について、軽度の転倒事故の報告にも理解が頂けないご家族への対応。	事故予防についてのホームの対策をご理解頂き、面会にも来て頂ける様、巧く誘導できる様努める。	事故予防対策についてご理解頂ける様、書面でお伝えする。	1 年
3					
4					
5					

注 1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注 2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。